

飛鳥資料館開館50周年・「奈良県飛鳥池遺跡出土品」重要文化財指定記念



令和7年度 秋期特別展

古代技術 の精華

— 飛鳥池工房 —

2025 11.5^{Wed} — 12.14^{Sun}

※会期中に一部展示品の展示替えあり

開館時間 9:00～16:30（入館 16:00まで）

休館日 毎週月曜日（11.24は開館し翌日閉館）

入館料 一般 350円、大学生 200円
70歳以上・高校生および18歳未満は無料
※障がい者とその介護者各1名は無料



主催…独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所 飛鳥資料館

後援…朝日新聞社、NHK奈良放送局、近畿日本鉄道株式会社

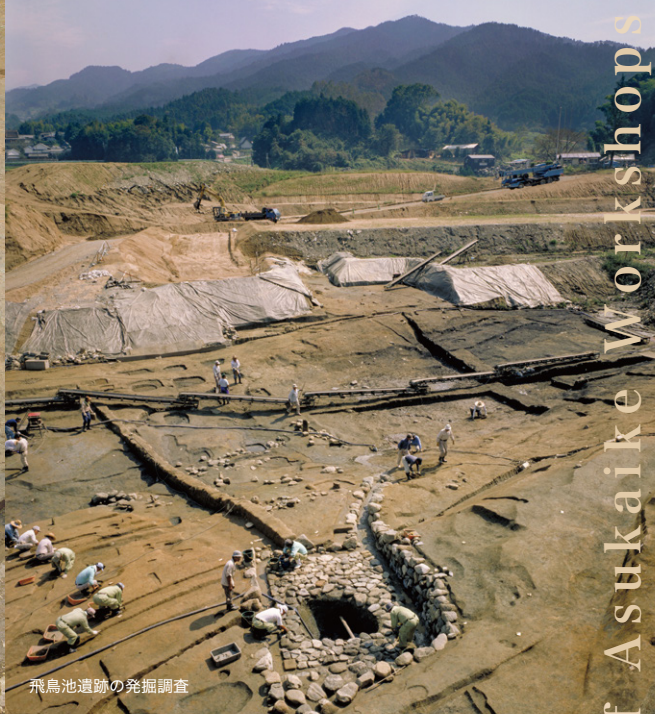
〒634-0102 奈良県高市郡明日香村奥山 601 TEL 0744-54-3561

奈良文化財研究所

飛鳥資料館



密集する炉跡群



飛鳥池遺跡の発掘調査

令和7年(2025)は、奈良文化財研究所 飛鳥資料館の開館50周年にあたります。本年3月には、奈良文化財研究所所蔵の「奈良県飛鳥池遺跡出土品」の重要文化財指定が決まり、50周年がより意義深いものとなりました。

奈良文化財研究所による飛鳥地域での発掘調査のなかでも、飛鳥池遺跡の調査は古代の巨大工房の実態を解明した、特筆すべき成果です。この工房では7世紀後半を中心に、金・銀・銅・鉄・ガラス・漆などを用いる多彩な品々が生産されていました。また、最古の铸造貨幣である富本銭の生産もおこなっていたことが明らかとなりました。飛鳥池遺跡は、名実ともに飛鳥時代を語る上で欠かせない遺跡であるといえます。

このたび、飛鳥池遺跡から出土した膨大な遺物のうち、工房に関わるものを中心として主要な出土品643点が重要文化財に指定されました。本展覧会では、重要文化財指定品を多数ご紹介し、飛鳥池遺跡の工房の全貌と古代の技術に迫ります。



富本銭の出土状況



木簡

《講演会》※事前の申し込みは不要です。参加には観覧料が必要です。

会場：飛鳥資料館講堂

開演：13:30 (13:00 開場) 終了：14:30 頃

第1回 11月15日(土)

「飛鳥池工房にみる古代ガラスの技術」

講師：谷澤亜里 (都城発掘調査部 考古第一研究室 研究員)

第2回 11月29日(土)

「飛鳥池遺跡と富本銭」

講師：石橋茂登 (飛鳥資料館 学芸室長)

《ギャラリートーク》※事前の申し込みは不要です。

担当研究員が展示品の見どころをわかりやすく紹介します。

12月3日(水)、12月12日(金) 14:00～

会期中、木簡などの一部の展示品は展示替えをおこないます。

展示品やイベントの詳細は飛鳥資料館ウェブサイトからご確認ください。



詳細はこちら

〈アクセス〉

- 近鉄橿原神宮前駅・飛鳥駅から明日香周遊バス(赤かめ)で「明日香奥山・飛鳥資料館西」下車
- 近鉄・JR 桜井駅から奈良交通バス(36系統：明日香奥山・飛鳥資料館西行)で「飛鳥資料館」下車
- 駐車場 無料 普通車 10 台分(近隣に有料駐車場あり)

銅製の人形(ひとがた)



富本銭と
鑄型・砥石など

金属製品とそのひな形

